

海外実習派遣報告会！

県庁でアメリカ、ブラジル、オランダでの 農業体験実習を報告

海外で農業体験 生徒が成果報告

5高校10人、県庁訪問



海外での学びの成果を発表する
生徒＝県庁

7～8月、農業体験学習で米国やブラジル、オランダに海外派遣された県内の高校生10人が、県庁を訪れ、堀貴雄教育長や県議、教員、保護者に学んだ成果を報告した。

海外派遣は4年ぶりに行われ、岐阜農林、郡上、飛騨高山、大垣養老、加茂農林の5高校の2、3年生が参加した。生徒代表の岐阜農林高校生物工学科3年生の黒崎梓里さんはバイオマ

スの活用をテーマに発表。ブラジルでは場を観光地化することで有機農業を普及させた事例を紹介し、「コミュニティを通して環境保全の意識を高めることが大切」と話した。

堀教育長は「海外派遣に行く前と後ではみんなの顔がたくましくなった。誇らしく思う。将来の農業の担い手として、経験を生かしてほしい」とたたえた。

(稲葉亮)